

高値に誘われ

掃立追増多数

四倉市場五日間延期

四倉市場の昨昨日の商取引相場はまた、奔騰して最高六圓七十九銭、最低五圓五十銭、馴六圓三十八銭とあり好調の高値に誘われ掃立の追増が多数に上るため同市場の定期取引は十月十五日まで、あつたが二十日頃まで延期される模様である。

名簿

陪審員の

平町の陪審員有資格名簿は一日から七日間町役場で縦覧せしめるが決定資格者五百四十二名である。

鑛産税割當

縣當局も重要視

近く經濟部長來平協議

平町外湯本、内郷、磐崎、飯野等の各町村に對する鑛産税割當に就いては關係町村當局が再三協議したが割當額の協定が成立せず結局縣當局に一任したので昨昨日青沼平町長は出縣し縣の裁決を求めたが縣でも同問題である。

災害復舊豫算は

十萬圓計上せん

小林監督所長が大馬力

三十八ヶ所の工事

既報今回郡下を襲つた災害對策の打合せに出縣した小林平土木監督所長は昨三十一日夜歸平したが同所長は管内の復舊工事として縣管橋、道路、港灣各八ヶ所、河川十ヶ所及び町村經營の橋梁三ヶ所、港灣一ヶ所等合計

三十八ヶ所、豫算總額十一萬圓餘の相當大きな復舊案を縣に提出し總豫算額を九萬九千七百圓に削減されたが今後更に四五千圓を追加して郡下の復舊豫算を十萬圓にこぎつけねばならぬと

兒童体育競技

新記録續出して

昨日の大會頗る賑ふ

第三區小學校兒童體育競技會は既報の如く昨日午前十時より舉行されたが絶好の秋晴れに恵まれ各選手のコンディション好く各種目に新記録續出下山田審判長の講評あり午後四時閉會した、受賞者左の如し

- △五十米(尋五女)一平第二 黒木智子八秒一 △百
- 米(尋五男)一平第三 服部博一四秒四(尋六男)一平
- 第一新妻唯男一四秒一
- (尋六女)一平第二 鈴木光
- 子一五秒三(高一女)一飯
- 野志賀正子一六秒八(高
- 二女)一平第二 八巻ヒデ
- 子一五秒一 △二百米
- (高一男)一平第一 松本力
- 二八秒四(高二男)一内高
- 鈴木國雄二七秒六 △四百
- 米(尋五男)一平第一
- チム(大谷、折笠、鈴木
- 長谷川)一分〇秒九(尋五
- 女)一平第二 チム(長
- 瀬、黒木、猪狩、有賀)一分
- 四秒二(尋六女)一平第二
- チム(鈴木、花澤、根岸、
- 山野邊)一分一秒八(高一
- 女)一平第一 チム(渡邊

意氣込んで居る

肥料購買促進

縣農會は来る十二日午前九時から團體事務所樓上で石城、双葉南郡各町村の肥料購買事業促進會を催すと

簡保記念の

清書展開く

よりマルトモホールで開催されたが平町三小學校及び好間、平窪、神谷、飯野、高久の各小學校選出の優秀作品三百餘点が飾られ快晴に恵まれ參觀者多く盛況を呈してゐる因に平第二小學校より出品の兒童左の如し

- (尋一)宮川幸子 市原恵子(尋二)原貴美 笠井明子
- 蛭田伸子(尋三)鈴木知克子 黒木雅子 猪狩敏子(尋
- 四)鈴木静 中野静子 廣邊義子(尋五)千葉怜子 大
- 和田キヨ子 大嶺悦子(高一)佐藤久子 杉山ツキノ
- 川崎初子

第四區の

兒童競技

石城郡第四區小學校兒童體育競技會は廿八日午前九時より草野小學校々庭で開催されたが各校の得点左の如くで四倉校が優勝した

- 1 四倉校四七点 2 神谷
- 校三一点 3 大浦校三〇
- 点 4 豊間校三〇点 5
- 草野校二八点 6 夏井校
- 二二点 7 高久校二二点
- 8 大野第一一五点 9 大
- 野第二五二点

大小麥の

病害豫防

石城郡農會では愈々大小麥のばん種期を目前にしてこのばん種準備に最重要な病害の豫防につき注意書を發したが病害中に發生の著しいのは黒穂病、斑葉病、銹病、澁病等で一度これらが發生

するとその胞子が種子に附着して蔓延するおそれが多分にあるのでこの場合冷水温湯浸法を用ゆることが最も効果的であると云ふのである尙特に温度と時間に細心の注意することが肝要であるといふ

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 立番彌一
藥局 平町新川町十九
病室完備 入院隨意 木村病院
電話一六四番

喜多流謠曲と仕舞の

稽古をお奨め致します

喜多流 仕舞 白土會
平町田町六九
電話一二七番

小名濱火葬場

去る八月以來總工費八千圓で新築を急いでゐた小名濱町々營火葬場は昨昨日盛大に落成式を舉行した

平町人

結婚 姻
△五丁目一二 三森芳重氏
(二七)夏井村字大乗坊一
三三森チヨさん(二五)

十月 収穫に忙しく 行事の多い月

松茸の香が市場に味覺をそよみ名物の梨廿世紀や長十郎が店頭を飾る中秋十月を迎えて農家は収穫季に入り秋のスポーツは随所に若人の血を湧かす頃となつた、實つた農作物の耕種を誇らんとする品評會や共進會は町や村を賑はし濱通りは秋刀魚の大漁續きに活況を呈し養蠶家は好値の晩秋蠶の收購に忙しい季節であると共に秋愈々深ふせんとして一層行事の多い月である

磐女講堂は 卒業式迄に 竣工の豫定

青沼平町長は昨卅日出懸の際懸案の磐城高卒女學校講堂建設の促進に就いて縣當局に交渉した處折良く縣で作製中の設計圖が出来上つて居り明年三月の卒業式に間に合はせるとの意嚮にて來る十日頃近藤技手を同校に派遣して工事着手に就いての打合せを行ふ旨を確めた由

江名隣保館 收容兒超過

江名町の隣保館は去る八月一般町民の期待の裡に開館して以來發展目覚ましく最近は入所兒童も定員より超過現在數百名を算へて保母の手足不足を來たした結果一名増加の必要に迫られて來

稽古舞臺

新田町に落成 平藝妓屋組合では踊りの師匠花柳徳三郎師の稽古舞臺を新田町に新築中の處此程落成したので五日午後五時から舞臺開きを行ふ由である

るが同舞臺は花柳氏の恩師故花柳徳之輔氏の遺族から形身分けとして譲られた由緒付きのもので三間に十尺の總檜である

草野村で 今曉火事

草野村大字下神谷字中宿農齋藤己治(五)方の主家より今曉一時發火火は忽ち主家を一嘗めして隣接せる隱居部屋に延焼したので同村消防組及び駆け付けた平町の自動車消防隊が消火に盡力し同二時半主家と隱居二棟を全焼して鎮火したが原因は養蠶室暖爐火の不始末らしいと損害約二千圓

落磐下敷 二名慘死

内郷村大字高坑字御殿五号ノ七磐炭坑夫神長龜治(三)同大字宮字峰根五号柿崎榮(七)の兩名は昨卅日午後十時頃高坂坑内で作業中落磐の爲め下敷となつて即死した

敬老會の 開催準備

平町女子青年團は今日午後二時より平第二小學校に幹部會を開き敬老會について打合せた

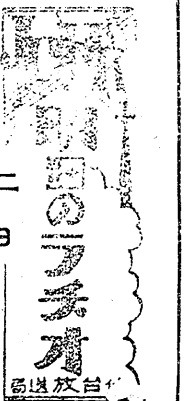
由緒付の 稽古舞臺

新田町に落成 平藝妓屋組合では踊りの師匠花柳徳三郎師の稽古舞臺を新田町に新築中の處此程落成したので五日午後五時から舞臺開きを行ふ由である

平商級長任命 平商

業學校は今日午前八時より同校講堂で后期級長任命式を行つた氏名左の如くである

- (五年甲)内海實 粥塚晴
- (五年乙)齋藤一夫 岡田彦太郎(四年甲)黒川壽三
- 金成新一郎(四年乙)松本貞雄 佐藤久右衛門(三年甲)松島精 長瀬泰輔
- (三年乙)會田長太郎佐



天 氣 預 報

今晩悪明日も北東の風幾分弱くなる

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間 偉人物語「十月生れの偉人」高島平三郎
- 後六、二五 講演「商業組合法」のついで「勝正憲」
- 後七、三〇 講演「治政廿五周年記念日を迎へて」宇垣朝輔總督府朝鮮治政廿五周年に際し 齊藤實子
- 後八、〇〇 朝鮮歌謡の變遷 金水品他
- 藤満憲(二年甲)加澤清
- 荒川利夫(二年乙)秋元博村上信(一年甲)市毛美德
- 中野一(一年乙)小野正雄 北林唯雄

明日の部

- 前六、三〇 英語講座 片山俊
- 前七、〇〇 朝の修養無量 壽經 三誓偈羽深了諦京
- 前九、〇〇 家庭メモ
- 前一〇、三〇 家庭講座

働く人を 鳴物入で探す

大量の求人申込

平職業紹介所には最近大量の求人申込が各地から殺倒して所員は鳴物入りで働く人を求めて居るが其の筆頭には錦村昭和人絹工場の女工三百名の募集があり更に岐阜大垣市の大日本紡績垂井工場の女工三百名、男子の部では東京市本郷區の東京家庭購買組合の店員三十名、また千葉縣木更津海軍航空隊より入夫三十名等の申込あり希望者は至急同紹介所に申込まれ度いと

- 五、六圓 外仕着
- △箱メ 二十六才 月十圓
- △電線製造見習 十八迄 高卒

- △料理人 三十九才 尋卒
- △牛乳配達 十六才 高卒
- △旅館女中 二十五才 高卒
- △女中 二十才 高卒

父正直儀豫て病氣療養中の處去る二十一日東京市本郷區別邸に於て享年八十七才にて永眠仕り候間此の段生前厚誼諸彦に謹告仕り候 追つて葬送の儀は十月四日午後一時自宅出棺 明賢寺に於て葬儀執行可申候 昭和十年九月卅日

男 堀 江 正 茂
親 戚 一 同

平區司法記念 平區裁判所は今日一日の司法記念日に際し勅語捧讀式を舉行したが更に午後四時より所員の將棋大會を開いた

蓄産馬組合の技手三森重雄 石城 回人を求める方

平職業紹介所報告 回人を求める方



明治太平記

(作) 寺島雄史
(監) 寺島雄史

第二百三十九回

開化の鬼 (其)

「だんなさま」
おとわは、深紅の寝椅子に身を投げ出して、パークスに呼びかけた。そのしどけなさを、はじめて、まともに見て、パークスは、心をおどらした。

「なんですか？」
「どうして、あなたは、怒つてくださらない？」
「何がです？」

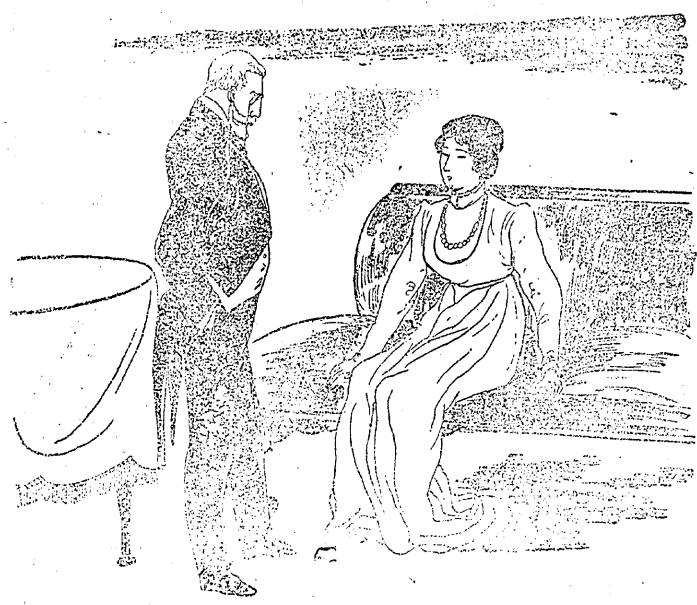
「あたしが、ウエルズを殺さなかつたことを……」
パークスは、たゞ、わらふだけだった。

「あたし、これから、もう一度延達館へ戻つて、あの人を殺してきますわ」
「ほう」

「一人で、やらして下さいまし」
「いや」
「いやなぞと、いままら」
「もう、ウエルズなぞ、どうでもよろしい」

「いゝえ、あのひとが生きてゐる間、あたし、あなたに愛されない……」
「ちがふ、ウエルズを眼中におかずに、わたくしを愛してください、おとわし

「やん」
「いゝえ、あのひとにいつも狙はれてゐるやうで、いやでござんすわ」
「おとわしやん」
「え」
「狙つてゐるのは、ウエルズではなく、あなただから……」



「え？」
深紅の寝椅子を、おどろいて飛上るやうにした。
「わかつて居ります」
「なんですつて？」
「あなたは、ウエルズを兄さんのかたきと付狙つてを

ることを、わたくし、よく知つてをります」
「……」
「ニツポン流の、かたきうちですわ。隠してもいけません」
「では、それほどおわかりならあたしを、延達館へ歸してへ下さいまし」
「いけません」
「ほんとうに……」
「あなたを、ウエルズのところへやると、反対にウエルズのために殺されます。ウエルズは軍人、なか／＼隙をみせない」
「……」
「ウエルズは、いまに、ニ

のポケットに手をやつた。
「これ、これ、このニツボンナイフが、その證據です……」
「おとわが、あぶない!!。さう思つた。約束をたがへて、いつまでも引返して来ぬおとわの身に、何か變つたことが出来たと思ふのは當然だ。
パークスと、白浪一統との、あらしの渦中にまき込まれてしまつたではないか。
耳をすまして、前方をうかがつたが、人聲も、亂れ
磐城セメント會社特約店
た足音もきこえぬ。しいんとして水底のやうだ。
「おい、ウエルズ、茶い」
「どこへ、いくか」
「ホテル館へ、みんなのあとを追ふてまゐる」
「……」
と、何とおもつたか、ウエルズは、大志賀についてホテル館へゆくとみせかけて、ひらりと體をひねるとそのまゝ、延達館の方へ駆だした。
「待て! 何處へゆく」
大志賀は、低く、鋭く叫んであとを追ふた。

久松屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は久松の生命なり

味覺の秋を楽しみ得る

香氣の高い 松茸

料理を始めました

出前 迅速 錦水

ツポン官憲の手で殺してあげます。待つて居るがよい……」
「どうして、あたしのこと、あなたはご存知」
すると、パークスは、いきなりおとわの婦人中禮服

御料理 折詰 仕出し
松茸料理を 始めました
平二番 岩倉 岩倉通り
魚清食堂
電話六三三三

平二番 岩倉 岩倉通り
魚清食堂
電話六三三三

かまぼこ 製造
お惣菜用 さつま揚 吉原揚
平町一丁目
不夜城
電話一四一番